

桜 真

NO.53

2022(令和4)年2月25日発行
岩瀬日本大学高等学校
<https://www.tng.ac.jp/iwase/>
父母と教師の会
〒309-1453
茨城県桜川市友部1739
TEL 0296-75-2242
FAX 0296-75-4905



撮影 小松崎雅斗 (令和2年度卒)

あきらめないで「もう一歩」を踏み出そう

男子硬式野球部の目標は県ベスト8。しばらく県大会での勝利から遠ざかっていた本校ですが、ここ数年で「もう一息」のところまで前進してきました。昨夏はベスト16。甲子園に出場した鹿島学園戦は、8回に同点に追いつくも、「もう一歩」届かず敗退しました。

「もう一息」「もう一歩」。難しいことかもしれませんが、止まってしまったら先はありません。大変な状況の世の中ですが、あきらめることなく「もう一息」「もう一歩」頑張っていきましょう。

男子硬式野球部顧問 石塚 和之

今こそ

『進化』の機会

校長 吉田 邦孝

長かった冬も終わり、解氷の兆しが見え始めた。今、新型コロナウイルスの感染拡大は、変異株の登場とともに感染者数の増加を

周期的に繰り返してきています。そして、今現在、人類はこの感染症に對峙し、ワクチンや治療薬の開発、感染を拡大させないような新しい生活様式を模索しています。

ド・ウォレスによつて、進化論の一つである自然選択説が提唱されました。生物進化のためには、環境変化への適応・異種同種間に起こる競争など、生存確率や次世代に残せる子の数に有利な個体が生き残るとしています。

現在のコロナウイルス感染症拡大は、人類にとつて大きな影響があることは言うまでもありません。進化への大きな圧力になっていくと考えます。しかし、人類は、自然選択説にあるような「適応できる人だけが生き残る」という戦略で存続をしようとはしていません。

他の生物の生き残り・自然淘汰の戦略と大きく異なっていると感じています。すなわち、誰一人取り残すことがないよう、研究開発を行い、新しい生活様式を模索し、パラダイムシフトと呼ぶべき常識や価値観の変化を創り受け入れようとしています。

このようなことができるのは、長い歴史の中で多くの人が経験してきたことを英知として積み重ね、環境などの外的要因ではなく内発的な思いである幸福感Ⅱ Well-beingを多様な人々と追い求めてきた人類だからこそと思われまふ。そして、私たちは、現在の難局を乗り越え、今後さらにやってくる荒波を乗り越えていかなければなりません。そのために、多くの人々と、平和的に、協働的に、人類が積み上げた英知と Well-being を手に入れていくための、教育の力は必要不可欠であると考えています。

『進化』し続ける教職員も全力で体育祭。

学校生活

NEWS

ICTスキルアップ講座

7月13日14日の放課後、希望者対象にICTサポーターによるスキルアップ講座が行われました。希望者は 구글スライドの使い方と相手に伝わるプレゼンテーションのコツを学びました。



いばらきハイスクール議会

7月31日、8月1日の2日間、にわたって、本校の代表として奥原菜々美さん(2-17)と小林真緒さん(2-17)が「いばらきハイスクール議会」にオンラインで参加し、高齢者が生き生きと過ごすことのできるコミュニティの推進などの提言を発表しました。

生徒会役員名簿

会長	秋山 宮璃	2年5組
副会長	篠崎 貴弘	2年5組
副会長	宮田 開成	2年3組
書記	阿久津陽香	2年5組
書記	横島 竜季	1年2組
会計	横山 拓己	2年1組
会計	村井 秀斗	2年4組
企画広報	大関 望来	1年1組
企画広報	栗原 怜奈	1年4組

生徒会役員任命式

9月17日、後期生徒会役員任命式が行われました。生徒会では、ペットボトルキャップ回収活動を継続しており、認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会より感謝状をいただきました。捨ててしまうキャップも約2キロ集まればポリオワクチン1人分になるそう



報徳サミット

11月6日、第26回全国報徳サミット掛川市大会がオンライン開催され、高校生によるリレートークでボランティア部の今井凛々亜さん(2-2)が参加しました。桜川市の良さとSDGs 17の達成目標に向けた自分のできる取り組みを発表しました。



司法書士学習会

11月8日、国立2年生が「Webで知ろう！司法書士の仕



事！」に参加し修了証を頂きました。オンラインでの開催でしたが、司法書士の仕事や法律に触れる機会を得ることができました。

模擬選挙実施

地歴・公民科では10月25日、26日、主権者教育ウィークとして実在の政党で投票する模擬選挙を実施しました。後日、3年生が投票した衆議院議員模擬選挙(比例代表)の開票作業を行いました。



桜蔭記念講演会

12月8日、茨城の魅力を発信し、イバラッパードとしても活躍している青木智也さんに「アフターコロナは茨城の時代!?」だっぺ帝国の逆襲」の演題でご講演いただきました。意外と知らない茨城の魅力を知ることができました。さらに、イバラッパードとして2曲ご披露して

いただきました。



大学入学共通テスト激励会

12月15日、受験生代表の力強い決意表明とだるまの目入れが行われ、残り30日の健闘を祈願しました。



校内ウインタースクール

国立・特進コース全学年は、12月27日から年末年始も学力向上を目指して頑張りました。1年生はChromebookを活用、2年生は駿台サテネットを受講、3年生は共通テスト直前対策授業を行いました。

部活動

NEWS

卓球部

〔全国高校総体〕

男子団体1回戦

対新潟産大付(新潟) 3-1 負
 渡邊 直翔(3-1)
 中尾 壮(3-2)
 小口 悠斗(2-2)
 瀧本 亘(2-2)
 鍋島 典(3-5)
 江田 修二(1-1)
 秋山 優人(1-5)
 男子ダブルス1回戦
 鍋島 典(3-5)
 小口 悠斗(2-2)
 男子シングルス



2回戦 鍋島 典(3-5)
 1回戦 瀧本 亘(2-2)

〔関東新人大会〕

男子団体予選リーグ

対拓大紅陵(千葉) 2-3 負
 対足立学園(東京) 2-3 負
 対前橋(群馬) 3-2 勝
 対埼玉栄(埼玉) 0-3 負

男子ソフトテニス部

〔茨城県高校新人大会〕

男子団体第3位

沖村 采都(2-2)
 原田 興介(2-2)
 菅原 大夢(2-3)
 海老原章登(2-4)
 加倉井 尊(2-5)
 谷 真弥(2-7)
 大崎 竣也(1-1)
 端 文翔(1-2)
 男子個人ベスト8
 加倉井 尊(2-5)



大崎 竣也(1-1)
 男子個人ベスト16
 海老原章登(2-4)
 原田 興介(2-2)

女子ソフトテニス部

〔茨城県高校新人大会〕

女子団体第3位

磯 佑歌(2-1)
 齋藤 綾乃(1-2)
 猪瀬 杏奈(1-3)
 川田 桃叶(1-3)
 加藤 七菜(1-4)
 野部 円寿(1-4)
 渡邊 空音(1-4)
 久郷 愛莉(1-5)
 女子個人第3位
 齋藤 綾乃(1-2)
 川田 桃叶(1-3)
 女子個人ベスト16
 加藤 七菜(1-4)
 野部 円寿(1-4)



男子剣道部

〔県西地区高校秋季剣道大会〕

男子個人戦

第5位 佐藤 徳政(2-2)



女子剣道部

〔茨城県高校剣道勝ち抜き大会〕



女子団体第3位

齋藤 愛叶(2-3)
 吉川 聖羅(2-4)
 江田 唯花(2-6)
 木村 真由(2-6)

谷貝和花奈(2-6)
 山崎 心海(1-3)
 小林 由美(1-3)
 〔東日本復興記念第10回登龍杯
 争奪全国高校選抜剣道大会〕
 全国から強豪校が集結する中
 健闘しました。

サッカー部

12月5日(日)サッカー部監督の
 塩田悠一先生が、第100回全
 国高校サッカー選手権大会茨城
 県大会決勝の解説を行いました。



〔第100回全国高校サッカー選手権大会茨城県大会〕

2回戦(対波崎柳川高校)
 2対2(PK2-4) 敗退

〔茨城県高校サッカー新人大会 県西地区予選〕

1回戦(対八千代高校)
 1対1(PK8-7) 勝利
 得点者・中野 太暉(2-1)

2回戦(対茗溪学園高校)

3対2勝利(県大会出場決定)
得点者:佐藤凛汰朗(2-1)

浅野 陸玖(2-5)
武内 咲陽(1-2)

【茨城県高校サッカー新人大会】
1回戦(対水戸第一高校)

3対3(PK6-5)勝利
(ベスト16進出決定)

得点者:中野 太暉(2-1)
田上 琉翔(2-2)

谷口 遥星(1-1)
*県大会2回戦(対藤代)以降は、大会中止となりました。

男子硬式野球部

【全国高校野球選手権茨城大会】

2回戦 対牛久栄進高9-1

3回戦 対下館工業高8-3

4回戦 対鹿島学園高3-7

【秋季関東地区高校野球茨城県大会】
2回戦 対水戸啓明高0-8

陸上競技部

【茨城県高校陸上競技新人大会】
男子砲丸投げ
第8位 澤 勇氣(1-4)



女子バドミントン部

【茨城県新人大会】

女子団体

ベスト16

菅山 彩帆(2-3)

井関 絢未(2-4)

市川 沙耶(2-7)

谷畑 妃音(2-7)

菅谷菜七子(1-4)

吉田 芭(1-6)

女子ダブルス

ベスト32

井関 絢未(2-4)

谷畑 妃音(2-7)

菅山 彩帆(2-3)

市川 沙耶(2-7)

菅谷菜七子(1-4)

吉田 芭(1-6)

女子シングルス

ベスト32

井関 絢未(2-4)

谷畑 妃音(2-7)

市川 沙耶(2-7)

菅谷菜七子(1-4)

吉田 芭(1-6)

【牛久栄進高校主催USKカップ2021】
県内の高校8校が集まり、団体戦形式の練習試合に参加。



ライフル射撃部

【茨城県新人戦】

ビームピストル出場

岩田 虎琉(2-4)

ビームライフル出場

岩本 夏来(2-2)

廣瀬 遙己(2-4)

石原 啓幹(2-5)

篠崎 貴広(2-5)

大関 望来(1-1)



女子硬式野球部

【全国高校女子硬式野球選手権大会】
1回戦

(対東海大静岡翔洋高校)1-7

田中 藍奈(3-3)

谷島 伶南(3-5)

松山明日香(2-1)

大塚 亜美(2-4)

鈴木 沙海(2-4)

皆川陽奈子(2-5)

稲葉 恋菜(2-6)

佐藤 安純(1-4)

関口 愛実(1-4)

西山 沙希(1-6)

【岩瀬ライオンズクラブ旗少年野球大会】
大会運営に協力しました。審判、放送、ボールガールにグラウンド整備等を行いました。

【女子硬式野球部の記事が7月20日発行の「茨城新聞」に掲載されました。



スキー部

【全国高校総合体育大会茨城県予選】
男子回転優勝

黒須悠太郎(3-3)

チアリーディング部

11月27日につくば霞ヶ浦りんりんロード岩瀬休憩所で桜川市商工会主催の「MOTOREK I」イベントに参加しました。

本校卒業生の安達勇人さんとコラボすることができ、大いに盛り上がりました。



ソーシャルメディア部

【全国高等学校総合文化祭和歌山大会】

「文化部のインターハイ」といわれる全国高等学校総合文化祭に、ソーシャルメディア部から新聞部門・放送部門の2部門に出場しました。新聞部門では開智高等学校で交流新聞作成を行いました。



〔東京オリンピック・パラリンピック能楽祭オンライン取材会〕

8月17日、飯山粹衣さん(3-2)が司会進行を務めました。

総合科学部

〔ロールス・ロイスオンラインサイエンスキャンプ〕

8月30日、ホバークラフトの制作を通してエンジニアリングの考え方を学びました。

〔モデルロケット全国大会〕



10月19日、JAXA筑波宇宙センターにて行われた大会に山口結子さん(2-5)が参加しました。紙や木材を使用したオリジナルのモデルロケットで滞空時間と最高到達高度を競いました。岡山県の玉野高校の生徒の皆さんをはじめ、多くの方々とロケットについて語り合うことができました。また、月刊天文ガイド2022・1月号に本

校のモデルロケットが掲載されました。

〔THK共有プロジェクト「捨てたくなる自動分別ゴミ箱を作ろう」〕

11月26日、PCでプログラムを組んで、アルミ、スチール、ペットボトルを分別できるゴミ箱を作りました。

文芸部

全国総文祭の壮行会で藤沼きさらさん(2-7)が校長先生から激励を受けました。

〔茨城県高等学校文芸部第2回中央大会〕

最優秀賞(短歌の部)

緒方 桃子(3-1)

優良賞(俳句の部)

藤沼きさら(2-7)

佳作(散文の部)

高松 彩(3-4)

〔茨城県高等学校文化連盟賞〕
受賞 緒方 桃子(3-1)



ホームプロジェクト愛好会

持続可能な生活に向けて何ができるか考え、家にある紙袋に強度をつけて、リュウスのバッグを作成したり、クリスマスにはキャンデルを作成したり、調理ができないながらも様々なことに挑戦しました。

ボランティア部

〔桜川市子ども会育成連合会主催桜つりリーダー研修〕

11月14日、小学生のサポートを行い、一緒につくし湖からハイキングをしたり、みかん狩りをしたりしました。



〔茨城県高等学校文化連盟ボランティア部会活動報告会〕

12月17日、他の高校の取り組みの発表を聞き、自分たちでできることを増やし、地域の方との繋がりを大切にしていきたいと思いました。

〔スポGOMI甲子園茨城大会〕

11月21日、ボランティア部、女子硬式野球部ほか希望者が参

加しました。那珂川のゴミを拾い、自然を大切にしようという気持ちが高まりました。



〔JICA筑波主催「高校生国際協力実体験プログラム2021」〕

12月11日、国立2年生4名が参加しました。県内の高校生約60名が、講演やワークショップ



を通じて、SDGsについて学ぶ機会を持つことができました。活動の成果はイオンモールつくばに展示されました。

〔IBARAKIドリームバス事業〕

約5か月間の活動でコミュニケーションボードのアプリ開発など行いました。

渡邊翔太郎(2-3)

小野 琢矢(2-5)

篠崎 貴広(2-5)

沼田 航汰(2-5)



茨城県高校総合文化祭 美術展

11月5日〜9日まで水戸市にあるザ・ヒロサワ・シティ会館でが開催されました。

美術の部

矢澤 寛典(3-4)

書道の部

館野 航平(3-1)

吉原慎一郎(3-3)

江幡 彩翔(1-6)

令和3年度3年生合格区分概況

※合格数は令和4年2月1日までの結果です。

1 日本大学 合格者数 94名

学部名	合格数	学部名	合格数	学部名	合格数	学部名	合格数
法学部	7	文理学部	9	経済学部	6	商学部	8
芸術学部	8	国際関係学部	4	危機管理学部	2	理工学部	10
生産工学部	15	工学部	13	生物資源科学部	9	短期大学部	3

2 私立大学 合格者数 33名

大学名	合格数	大学名	合格数	大学名	合格数	大学名	合格数
アール医療専門職大学	1	宇都宮共和大学	1	国際医療福祉大学	1	作新学院大学	1
秀明大学	1	淑徳大学	1	城西国際大学	1	中央学院大学	1
つくば国際大学	3	帝京科学大学	1	帝京平成大学	1	東海大学	1
東京医療学院大学	1	常磐大学	5	日本体育大学	1	日本文化大学	1
日本保健医療大学	1	日本薬科大学	1	白鷗大学	2	函館大学	1
文星芸術大学	1	目白大学	1	立正大学	1	流通経済大学	1
和洋女子大学	2						

3 私立短期大学 合格者数 3名

大学名	合格数	大学名	合格数
佐野日本大学短期大学	2	戸板女子短期大学	1

4 専門学校等 合格者数 13名

学校名	合格数	学校名	合格数	学校名	合格数	学校名	合格数
茨城県立農業大学校	1	大原簿記情報公務員専門学校水戸校	2	呉竹医療専門学校	1	晃陽看護栄養専門学校	1
国際ティビシィ小山看護専門学校	1	専門学校日産栃木自動車大学校	1	筑波研究学園専門学校	1	つくばビジネスカレッジ専門学校	1
東京ホテル・ウェディング&IR専門学校	1	日本電子専門学校	1	水戸日建工科専門学校	1	結城看護専門学校	1

5 就職 合格者数 2名

就職先名	合格数	就職先名	合格数
セキショウカーライフ(株)	1	中山板金工業	1

図書室から

図書館に住んでいる黒ネコの名前が「イロハ」ちゃんに決まりました。

黒ネコ

応募総数88件の中から協議の結果決定しました。ご協力ありがとうございました。

性格は、ちょっと人見知りだけれど、慣れるととっても人懐っこい。好きなことは本を読んでもらうこと、本の上で昼寝をすること。毎日たくさんの本を読んだり、読んでもらったりしているのと、とっても物知んな女の子です。皆さん、図書室に会いに来てくださいね。



名前募集アンケート作成担当者
図書委員広報係

河田 怜子さん(2-7)

クリスマス展示

12月初旬からクリスマス当日までB棟1階生徒ホールに掲示板に『エリザベート先生とラリーサ先生の国のクリスマス』

の展示をしました。

図書委員が先生方に取材し、それぞれの出身国のクリスマスについてまとめました。飾り付けは図書委員をはじめ、放課後に図書館を利用しての生徒も一緒に楽しく作り、飾り付けをしました。

***第44回生徒図書委員**

中央研修会オンライン大会*

12月15日。他校の図書委員との貴重な意見交換ができました。今後の図書委員会活動に活かします。



光陰矢の如し



父母と教師の会
会長 西岡勇一郎

桜散る春に始まり、桜咲く春に締めくくる一年。

この二年間というもの、毎年何気なく過ぎてきた一年がどんなに貴重な一年だったかを痛感させられてきました。

子どもたちが大人の世界へ飛び込む助走期間である高校年代。自分の未来に夢と期待と不安をごちゃ混ぜにして光速のごとく過ぎ去る日々を、記憶にとどめる間もなく過ごす三年間。

時代が変わっても、私が過ごした高校時代と同様の高校生活を我が子も繰り広げている様子を、ニヤニヤしながら見守ることが叶わないことに心底寂しさを感じています。

とは言え、大人の考えとは裏腹に子どもたちはこの状況を受け止め、しっかりと未来を見据えているようです。これが我々大人がいつの間にかどこかに置き忘れてしまった、「柔軟性」というものなのでしょう。

大事な三年間ですが、長い人生の中のほんの三年間。子どもたちには、これまでの逆境をバネに、これからの人生をより良きものにしてもらいたいです。

父母と教師の会会長として関わらせていただいたこの一年間は、行事らし

い行事はほとんど経験できず過ぎてまいりましたが、校長先生を始め、諸先生方がどれほど子どもたちの現在と未来のことを考えているのかを感じさせていただきました。

心残りなのは父母と教師の会の方々の交流がほとんどできなかったことです。

子どもがいくつになっても持ち続ける子育ての不安とワクワクを少しでも皆さんと共有できたら、色々な角度から我が子にアドバイスできたのかもれないと想像すると、少々惜しい一年でした。

本来なら祝福の言葉飛び交うこの時期に、少々暗い文章になってしまふことを申し訳なく思いつつも、これもまた地球の長い歴史のほんの一ページ。振り返りはほどほどに、親も子も先生も前を向いてこれからの明るい未来にまっしぐらに突き進みたいものです。三年生は新たな進路へ、二年生は最上級生へ、一年生はようやく高校生活に慣れてきたところで二年生へ……。一年が終わりを告げ、また新たな一年が訪れます。

これまでの思い出を胸に、それぞれが心新たに素晴らしい新年度を迎えられますように……。

今年度を振り返って

桜川支部
支部長 平 香央里

桜川支部長という大役を務めさせていただき、一年が経とうとしています。

今年度を振り返りますと、前年度に引き続き新型コロナウイルスの影響により学校が休校になり、各種行事の延期や制限などの影響を受けながらも、子どもたちは「新しい生活様式」で元気に学校に通い、学びを続けております。その学びを続けていられるのも、校長先生をはじめ諸先生方の献身的なご努力と熱意の賜物であると思っております。敬意を表すとともに御礼申し上げます。

また、保護者の皆様におかれましては、世の中が大変な中、毎日お子様を学校に送り出していらつしやること、私も子を持つ親として心労お察しいたします。

支部活動におきましては、例年通りの活動ができない状況ではありましたが、役員の皆様、支部会員の皆様の多大なるご理解とご協力で乗り越えることができました。また、支部長として、保護者として、多くのことを学ばせていただきました。本当にありがとうございます。

最後に、会員の皆様ならびに、これからの岩瀬日本大学高等学校の益々のご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

一年を振り返って

下館支部
支部長 佐藤 公彦

今年度も、新型コロナウイルスの影響により支部活動ができないまま終わることになってしまいました。

桜蔭祭や修学旅行など子どもたちにとって楽しみにしている行事が規模縮小や延期となってしまい、少々可哀想にも思いましたが、コロナの影響を受けながらも前向きに学校生活を送っている姿に、明るい未来が来ると思えました。そのような中でも、教職員の皆様には日頃より大変な状況の中、子どもたちの健全育成に勤しみ、さらに感染対策をしてくださり心より感謝申し上げます。「予測困難なこれからの社会に立ち向かっているのか」ということを試されているかのようなこの時代に「元氣や笑顔」「学び」の育成を通して、このコロナに負けないように、しっかりと乗り越えていける子どもたちを育てていくとともに、私たち大人も未だ出口の見えない日々が続いています。できることから一つずつ積み上げていくという尊さを今一度見つめ直し現実と向き合い、次に繋いでいこうという力強さや諦めない気持ちが大切ではないかと思えます。

令和四年度は、平穏な日常が戻り、子どもたちの学校生活がより楽しい時間になるように期待しています。三年間ありがとうございました。

一年を振り返って

県西支部
支部長 館野 美枝

「館野さん、役員引き受けてもらえますか？」入学式が終わってから電話がかかってきました。小学校の役員を引き受けたのも次男の時だったと思いき受けました。

県西支部のモットーは「楽しくやる」であり、先輩保護者の方がよく言っていました。確かに、どうせやるなら楽しく活動した方がいい！今は新型コロナウイルスの影響で集まることができずにいます。一年間だけでしたが、支部役員会、桜瑛祭の打ち合わせ、懇談会等がありました。もちろん大変なこともありましたが、役員の皆さんの笑顔と明るさで一緒にやり遂げることができました。

自分の人生の選択に岩瀬日大を選んだ次男は、部活中心の生活の中、学業との両立はとて大変だったのではないかと思います。そのような学校生活の中で、悩みもたくさんあったと思います。それを自分の力だけでなく、友人や先生方に助けてもらったことを忘れず、これから始まる次なるステージに挑戦してほしいと思います。影ながら全力で応援しています。

最後になりましたが、保護者の皆様、支部役員の皆様ならびにいつも熱心にご指導いただいた先生方、ありがとうございました。

三年間を振り返って

ときわ支部
支部長 松延 克彦

忌々しいウイルス騒動も早二年、いまだ出口がはつきり見通せないなか、本年度も父母と教師の会の活動は制限され、事業を通じて先生方や会員相互の交流を図ることが難しくなっています。

特に私たちがときわ支部は広域であることから、協力の輪を広げるチャンスでもある桜瑛祭の出店が二年続けて流れたことで、会の運営はもとより継続性の面でさえ支障ができております。

そのような状況下で、今年度はリモートという形ではありましたが、地区懇談会を実施することができました。ご協力いただいた支部会員の皆様、そして、とりわけ先生方には熱心にご指導をいただきました。改めて感謝申し上げます。

取り巻く環境がめまぐるしく変化するなかでも素晴らしい友人と熱意ある恩師に囲まれ、充実した学校生活を送ることができるよう、これからも学校・家庭・地域のつながりを大切に子どもたちを見守っていきましよう。

三年間、大変ありがとうございました。会員の皆様のご多幸と岩瀬日大高等学校の益々の発展をご祈念申し上げます。

一年間を振り返って

北つくば支部
支部長 森 正彦

子どもが岩瀬日大の校門をくぐって早いもので三年が経とうとしています。新型コロナウイルスの影響により、ほとんどの学校行事が中止や延期になり、子どもたちはいつもとは違う一年間だったと思います。

緊急事態宣言により、学校も臨時休校になりました。

その中で先生方には、家庭学習の指示やリモート授業というオンラインでの勉強を自宅待機時にいち早く取り組んでいただきました。

教職員の方々の対応やご苦勞に深く感謝いたします。

未だに先の見えないコロナ禍の中で、子どもたちにはこの出来事を乗り越えて、立派な大人になってくれることを願います。

私自身この一年、支部長として慣れない私を、役員、会員の皆様に支えられ、先生方のご指導とご協力によりここまでくることができました。

ありがとうございます。

最後に、会員の皆様ならびに岩瀬日大高等学校の益々のご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

本当にお世話になりました。

一年間を振り返って

栃木支部
支部長 橋本 愛恵

「例年は」が通用しない一年間となつてしまいました。コロナ禍の中、支部活動もままならず、以前は先生方、大勢の保護者に参加いただいた懇親会も未開催のまま終わろうとしています。

規模縮小で開催された桜瑛祭、校外活動の制限等、子どもたちの思い出作りや今しかできない経験の機会が少なくなつてしまったことに、私自身の学生時代を振り返り、寂しく思うこともありましたが、不安を抱え、闘いながらも真っ直ぐに将来を見据え一歩一歩前に進む子どもの姿に心強く励まされることがありました。

入学してからの三年間を振り返って思うことは、コロナがなければという思いと、コロナでオンライン授業やホームルーム等「例年」では見ることのできない子どもたちと先生方との距離感を知ることができました。

子どもたちに寄り添い、三年間ご指導いただいた先生方、本当にありがとうございました。

また、支部長として力不足である私を支え、協力していただいた役員の皆様、会員の皆様、ありがとうございます。

私の高校時代 ②

英語科 青木 拓也 先生

■プロフィール

- 誕生日 1990年6月15日生まれ
- 出身地 茨城県水戸市
- 出身校 岩瀬日本大学高等学校
- 最終学歴 日本大学国際関係学部
- 趣味 ラーメン屋巡り、ネットショッピング、スケボー、旅行(大学時代に留学していたインドの地をいつかまた訪れたい。)

私は水戸の外れにある国田という小さな町に生まれました。双子の姉と妹の四人兄弟です。私は父が剣道をしてきたこともあり、小学校三年生から剣道を始めました。私が生まれた国田という地域は昔から剣道が盛んなところで、多くの子どもたちが町道場で剣道を習っています。地域の指導者の先生方のおかげで中学生の頃に関東大会に出場することができ、高校では全国大会に出場したいという思いで岩瀬日大高校に入学しました。当時の剣道部は男女合わせて35名ほどいて、比較的に男子の割合が多い部活でした。入学してから初めに衝撃を受けたのは先輩後輩の上下関係で、駅から学校までの道は私語厳禁、班長と呼ばれる三年

生の先輩に続いて一列で歩き、挨拶は剣道部以外に野球部やテニス部の先輩にもしなければならぬという謎めいたルール(笑)がありました。一年生は誰が先輩なのか、そもそも部活に所属しているのかすらもわからないので、はじめは片っ端から会う人全員に挨拶をしていました。そのせいで、えっ?何?という顔でこっちを見られたことも多々ありましたが(笑)。他にも練習試合や夏合宿、地方への遠征など部活一色の高校生活を送っていた私ですが、私を成長させてくれた思い出の一つをお話したいと思います。

私は代替わりをしてから部長になり、チームとしても大将というとても重要なポジションを任せていただきました。仲間のおかげで、招待試合等でそれなりの成績を収めることができていたのですが、私のせいで負ける試合が多々あり、チームに迷惑をかけていました。年度が変わり最後の全国大会県予選。直前の関東大会県予選で私たちは決勝まで勝ち上がり、全国大会まではあと一步のところまでできていたのですが、大会一週間前には私は選手から外されてしまいました。部長としてチームを盛り上げなければならぬ立場だとわかっていても、悔しさと無力感でまともに練習に集中することはできませんでした。大会当日、試合が始まると、後ろから聞いたこともないくらい大声援が聞こえてきました。選手になれなかった同級生や後輩、OB、出稽古でお世話になった大学の先輩な

ど、今までお世話になった方々がたくさん応援にかけてくれていたのです。「こんなにたくさんさんの人が応援をしてくれているんだ」と心がぎゅっとなりました。控えとして見る会場の景色はいつもと違って見えて、今まで感じたことのない感情をいろいろと抱いたのを覚えています。「あいつは試合に出ないのに毎日練習に来てたんだ。」大声で仲間を応援する同級生がとてがかっこよく見えました。そして、先生がいつもおっしゃっていた「感謝する気持ち」を本当の意味で理解することができたような気がしました。結局



高校剣道関東大会(前列右から2人目)



高校の同級生の結婚式で(後列右から3人目)

チームは準決勝で負けてしまい、私も最後まで思い描いていたような活躍ができずに終わってしまったのですが、高校生最後の大会は私に勝ち負け以上に大切なことを教えてくれました。表舞台の裏には必ず人の支えがあります。傲慢にならず、こつこつと頑張りたい。そう思います。高校時代は何にでもチャレンジできる時期です。感謝の気持ちを忘れず色々な事に挑戦してみてください。私も高校時代に岩瀬日大で学んだことを胸に頑張っていきます。

活躍する卒業生



くつろぎのひとつ



兄とのツーショット(兄も岩日卒です)

さわだ **かずや**
澤田 和也

1993年 茨城県笠間市(旧友部町)生まれ
 2009年 笠間市立友部中学校卒業
 2012年 岩瀬日本大学高等学校卒業
 2017年 山形大学工学部電気電子工学科卒業
 2017年 東北電機製造株式会社設計部入社

趣味：ゲーム・ダーツ

特技：集中力(たまに時間を忘れます)

近況：2019年から日立市大甕工場に向向のため、実家に帰ってきています。2022年4月に東北へ戻る予定なので、最後に所縁のある場所を巡りたいと思っています。

「思い出とメッセージ」

高校時代は、文化祭準備や夏休み期間の授業など苦労もありましたが、卒業後に「あれよりはマシ」と踏ん張れる方になりました。

若い頃の苦労は買ってでもしたほうがいいです。仕事か飲み会のネタで必ず活きます。

大学入学後、担当の講師によって内容が全然違うことに驚きました。私の英語の授業は、学生同士でペアを作り、英語の演劇をすることでした。授業は全て脚本、演出、演技練習です。一方で、同級生の英語の授業は好きな洋楽の歌詞和訳。だから皆さんは、大学の授業は先輩方に内容をリサーチして選びましょう。大学は60点取らないと落第なので重要です。

就職後は、電力会社用製品の設計者になりました。入社式で社長から「学校は100点が満点だが、我々は100点が最低点」とお言葉を頂き、実際その通りでした。皆さんのこれからの人生で、高校、大学、社会人と求められるボーダーは上がっていきます。乗り越えるには、問題解決までの計画(いつまでに何をどこまでやるか)の明確化が大切だと思います。私自身未熟者ですが、皆さんと共に成長できたらと願っております。



大学の友人との旅行

やがい **めぐみ**
谷貝 愛実

1993年 茨城県筑西市(旧下館市)生まれ
 2009年 筑西市立下館西中学校卒業
 2012年 岩瀬日本大学高等学校卒業
 2017年 茨城県立医療大学卒業
 2017年 いばらき健康管理センター就職
 2019年 茨城県西部メディカルセンター就職

趣味：ゲーム・読書・お菓子作り・音楽

特技：褒めるところを探す

近況：診療放射線技師として毎日レントゲンやCTを撮っています。昨今のコロナ渦の影響で毎日忙しいです。



「人生を楽しもう」

将来やりたいことが見つからない方へ。

まず1つ、好きなものを見つけます。アイドルでもゲームでも何でも良いです。好きなものができたら、それを楽しむために必要なことを考えます。お金がかかるならある程度稼がなくてはならないし、時間がかかるなら自由に使える時間が必要でしょう。最後に、その条件を満たしている職業を探します。将来やりたい仕事が見つからない人は、1度そういう目線で考えてみるのも良いのではないのでしょうか。

勝ち組とは、たくさんお金を稼いだり、高い地位を築いたりした人ではなく、人生を楽しんでいる人のことです。

人類が全員、立派な志を持つ必要はありません。自分が将来幸せになる方法を探してください。今あなたがしなくてはいけないのは、それを実現するための努力だけです。勿論そのために今を犠牲にする必要もありません。将来のためとはいえ辛くても我慢しなくてはいけない時間なんて1秒もありません。

今も将来も、あなたの全部を大切にしてください。



体育祭

2021.11.2



「校真」53号をお届けします。昨年、少し落ち着きをみせた新型コロナウイルス感染症ですが、新年を迎え変異株の発生と共に感染者が増加しているニュースを多く目にします。感染拡大を防ぐ環境の中で学校生活を送ることができているのも、環境整備や検温など校長先生はじめ諸先生方の日々の対応のおかげだと思っております。ありがとうございます。

一年を振り返ると、行事や旅行など延期や中止になることも多い中、無事に桜球祭や体育祭が行われ、生徒の皆さんにとってはクラス全員で盛り上がった一番の思い出になったことと思います。まだまだ落ち着かない状況が続いていますが、三年生は新たな道へと進みます。岩瀬日大で学んだこと、先生方や友人と過ごした思い出を胸に自分らしく一歩一歩未来へ向かって進んでいってほしいと心からお祈りいたします。

発行にあたり、ご寄稿いただきました皆様にはご協力深く感謝いたします。ありがとうございます。

広報委員長 海老澤綾子
(県西支部)

編集後記